



共通講座④ シニアライフを楽しむ「旅行今昔」

講師：鈴木 英之氏（元名鉄観光国内旅行部長）

日時：12月14日(木)10:00~11:30

場所：豊田市福祉センター 41会議室



▲講師の鈴木 英之氏



▲世界初の団体ツアー 参加者は大満足

昔

- 乗車時間 東京→大阪間・昭和5年：特急 8時間
- 海外旅行渡航者・1965年16万人・1972年100万人

今

- 乗車時間 東京→大阪間・令和2年：新幹線 2.5時間
- 海外渡航者・2012年1850万人過去最高
- 旅行予約の変化
- インターネット予約→パソコンスマホ（個人で手軽に）
- バーチャルツアー（行かなくても仮想で体験）
- 美術館等の施設提供、旅行社のリモートガイド



江戸時代の旅

交通
交通網(街道)：東海道・中山道・奥州街道・甲州街道・日光街道 起点はすべて江戸日本橋

慶長9年(1604)、江戸幕府は全国的に道路改修事業を起したと記されている。道幅を広げ、屈曲をやわらげ、牛馬の往來の妨げとなる小石を取りのぞき、大道の両側には並木を植えるなど、そこには新しい道づくりの方向性が示されている。

『東海道御朱印』の見る道路改善

| 道路の種類 | 道路の幅員 |
|-------------|------------|
| 大道(大街道のこと) | 6間(約10.8m) |
| 小街道(小街道のこと) | 3間(約4.7m) |
| 横道 | 2間(約3.6m) |
| 奥道 | 2間(約3.6m) |
| 歩行路 | 1間(約1.8m) |
| 雑道 | 3尺(約90cm) |
| 作場道 | 3尺(約90cm) |

道路の種類のうち、大道である東海道を含む街道の幅員は、このとき6間(約10.8m)と定められた。

◆学生の振り返りより◆

- ・江戸～明治初期の日本の庶民生活に触れられていたが、元々興味があったので楽しく聞けた。トーマスクックのビジネス、日本旅行社のビジネスの始まりのエピソードも面白かった。各時代毎の旅行会社の知恵が面白く感心した。(60代男)
- ・昔の旅について、知っていることは映画やテレビで見た時代劇の内容程度であった。講義を受けて、なるほどと思った。現代では、ツアー旅行が主流であるが、自分で企画立案して安く、楽しく出かける方法もある事が分かった。(70代男)
- ・旅行が趣味の一つである私にとっては、楽しみにしていた講座で、旅の歴史や旅の楽しみ方を興味深く聞くことができた。コロナが収束したら、またどこかへ出かけたいと思った。(70代女)